

ワークシート

第2部 1章 東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質

授業テーマ あなたはどの思想家の採用を進言するか？（探究）

※ 赤字は生徒の解答例、青色は参考事項

◎探究テーマ

春秋・戦国時代は周王朝の弱体化とともに多数の諸侯が自国の存続のために互いに争う時代であった。こうした情勢を受けて、各国は、自国の存立や理想的国家の建設に向けて思想家を優遇した。思想家たちは自らの思想を構築し、諸国で採用されるべく自説を説いて回った。彼らは後の時代に「諸子百家」と総称される。

あなたは、春秋・戦国時代の小国に仕えています。自国をまとめ乱世を生き抜いていくために、君主にどの思想家の採用を進言しますか？

1 諸子百家の思想（グループワーク）【5分】

(1) グループ分け

あなたのグループは（ 家 ）

役割1（ **書記** ） 役割2（ **司会** ） 役割3（ **進言1** ） 役割4（ **進言2** ）

名前（ ） 名前（ ） 名前（ ） 名前（ ）

(2) どの思想家を採用を検討しますか？（儒家・道家・墨家・法家）

1（ 家 ） 2（ 家 ） 3（ 家 ）

4人1グループで、8～10グループ程度につくり、それぞれ担当する学派を割り振る。

(3) 思想のまとめ【20分】

それぞれの学派について、授業で学んだ要素（思想家・考え方など）をまとめよう。その後、関連する資料を読んで、思想の内容をまとめよう。資料の中で印象的な部分やその後の進言に役立ちそうなところをチェックしておこう。

授業で学んだこと

儒家：孔子、仁・孝・礼を主張**孟子の性善説、荀子の性悪説など****道家：老・荘子、無為自然、あるがままの生き方****墨家：墨子、兼愛や非攻を説く****法家：商鞅・李斯や韓非、法治国家**

資料のまとめ

儒家①：人は皆、人の不幸を見過ごすことができない。＝性善説**人の不幸を見過ごさないようにする政治で天下を治めることができる。****儒家②：人民に善意を施す政治を行うことで民衆を救うことができる。＝仁****他人を成長させる、尊重する。****儒家③：法や処罰では国民は治められず、徳をもってその罪の原因を取り除くことが必要。****道家①：財宝に価値をおかないなど、人々を無知無欲の状態である無為の政治を行うことで世の中が治まる。****道家②：国を治めるには作為的な事は何もしない方がよい。****余計なことをしないからこそ、民衆は自らを正す。****便利な道具が国家を混乱させたり、規則や法律が多くなり、民衆は自由が妨げられ悪事を働く。****墨家①：殺人など他人に損害を与えることは不義であるのに、戦争で他国を攻め多くの命を奪うことは義とされているのは矛盾しており、侵略戦争は非難されるべきである。＝非攻****墨家②：天下の禍乱、篡奪、怨恨などの、その起こる原因は、互いに愛しまないことにより生じる。互いが愛しみあうことで国が治まる。＝兼愛****法家①：君主は刑罰と恩賞によって臣下をコントロールすることができる。****法家②：役人がその職務を怠ることや、職務の範囲を越えて行動することは厳禁である。**

(4) 進言の内容【20分】

その思想を踏まえて、君主に向けてその思想がどのように自国の統治に役立つかプレゼンする内容を考えよう。また、他派から質問・反論される内容とそれに対する回答を想定しておこう。

進言内容

儒家:人を思いやる「仁」やそれを態度に表す「礼」という教えがある。また、井戸に落ちる子どもがいたら救おうとすることから、あらゆる人には善が備わっていると考えられる。そこで、儒家を国家に採用すれば、思いやりがあり、民衆にとって生きやすい国家ができるはずである。

道家:人為的なものを廃し、あるがままに生きる無為自然が理想的である。国家に細かな規則が多いと、かえってそれを破る者が現れて国家が混乱する。あえて国家は余計なことをせず民衆の自然な状態におくことで、国家は治まっていく。

墨家:誰に対しても与えられる無差別の愛である兼愛を身に付けることが重要である。兼愛を身に付ければ、互いに尊重し合う社会となり、国内も安定する上に、国家同士も戦争を行う必要がなくなり平和になる。

法家:法を用いて、刑罰と褒章を明確にすることで秩序ある国家となる。また、役人の仕事を明確にすることで、皇帝の意見を国家全体に伝えることができる。

学派の考え方と資料に述べられている内容を説明する。それを踏まえ統治に役立つ部分を提案する。

予想される質問・反論

儒家:思いやりだけで国がまとまっていくとは思えない。利己的な人物が現れたらどうするのか。

道家:自然に任せていては秩序がなくなり、国家が破綻してしまう。

墨家:戦国の世は戦わなければ、やられてしまう社会であり、非攻は現実的ではない。

人間は家族や友人など自分に近いものを愛するのが自然であり、兼愛は不自然である。

法家:法だけを守ればよいと考え、思いやりなどが失われる。

役人たちは自分の頭で考えず、与えられたことだけを行うようになる。

発表用にロイロノートやホワイトボードなどにまとめさせる。ここまでが1時間目。

(5) 進言（発表と評価）【40分】

グループごとに進言を発表してください。その後、他派からの質問・反論の時間になるので、それに対して回答してください。その後、各派の主張について下の判断のポイントにしたがってまとめと評価をしてみましょう。

思想家					
進言					
質問 反論					
論理	A・B・C	A・B・C	A・B・C	A・B・C	A・B・C
対応	A・B・C	A・B・C	A・B・C	A・B・C	A・B・C
表現	A・B・C	A・B・C	A・B・C	A・B・C	A・B・C

1班2分で進言し、他班からの質問・反論を1分で行う。10回繰り返す。

【判断のポイント】

論理展開	対応	表現
国家の安定や統治にその思想がいかに役立つかを資料に基づいて論理的に説明している。	主張に無理がなく、他派からの反論や質問にも的確に回答している。	進言が分かりやすく、王に対してふさわしい振る舞いをしている。

内容をメモさせながら聞き、論理展開・対応・表現の3点から他の班を評価する。

2 まとめと振り返り

(1) 採用結果とまとめ【5分】

代表者より総合的に判断し、どのグループを採用するかを発表します。

<memo>

この後、秦では法家が採用されるも、短期間で滅亡すること。

漢では儒家が採用され、正統思想となるが、近代にはそれが社会の停滞を招くこと。

どんな思想も完璧ではなく、弱点がある一方で、その利点は現代でも通用するものもあるということ。

多種多様な思想が誕生し、人々は乱世を生き抜くために、あるいは国を存続させるために、自らの思想を鍛え、ときに戦わせたこと。

(2) 学習課題「あなたが春秋・戦国時代の君主だとしたら、どの思想家を採用しますか？」に個人で解答しよう。

【5分】記入する時間が足りない場合は、課題として後日提出させる。

(解答例1)

私なら法家を採用する。なぜなら、国家がやってはいけないことに対しては刑罰を、望ましい行動には恩賞を与えることで国家の統治がやりやすくなるからである。また、法により役人の行動や国家の決まりを明確にすることで秩序ある社会となる。一方で、法による社会は人々にとって厳しい社会になるため、注意が必要である。

(解答例2)

私は墨家を採用する。戦争で他国を攻め多くの命を奪うことを否定する非攻の考え方を国家が取り入れれば、戦争が行われなくなるからである。一方で、侵略してくる国家に対しての防衛力は残す必要がある。

(3) 振り返りを記入しよう。資料の読み取りや話し合い・発表について振り返りましょう。また、自分の解答を検証するとして、諸子百家や中国の歴史について今後どのようなことを学習していけばよいか記入してください。

【評価基準】

	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	諸子百家に関する思想について、資料を根拠に述べ、国家の統治に役立つ部分や弱点を多角的に説明している。	一連の活動についてうまくいった点やうまくいかない点について自己分析しており、これまでの学習と結び付けて考え、さらに学習を深めるための見通しをもって主体的に追究しようとしている。
B	諸子百家に関する思想について、資料を根拠に述べ、その上で国家の統治にどう役立つかを説明している。	一連の活動について、うまくいった点やうまくいかない点について自己分析している。または、これまでの学習と結び付けられている。
C	思想の内容を述べている。採用理由が明確でない。	一連の活動について、自己分析が不十分である。